

第7回 よこはま地域福祉フォーラム



よりそい続ける つながりを育む

～「おたがいさま」のところが紡ぐ豊かなまち～

開催要綱

私たちのまち横浜では、普段の暮らしの中で様々な見守り、支えあい活動が育まれてきました。こうした活動を広く共有することで取組の輪を広げ、困りごとを受け止め支えあえる地域をめざしていこうという思いから始まった「よこはま地域福祉フォーラム」は、今年で7回目を迎えます。

コロナ禍により日々の暮らしが変わりゆく中でも、つながりがもたらす豊かさを見つめなおし、地域に根付いてきた支えあいの取組は、しなやかに形を変えながら少しずつ広がりを見せています。

困りごとを抱えた人を同じ地域の一員として受け止め、暮らしに寄り添う支えあいや、社会福祉法人、企業などが地域とともに課題に向き合う取組。また、支える側・支えられる側の区別なく、自分らしく暮らせるまちづくりなど、「おたがいさま」のところが身近な地域の中で着実に育まれています。

本フォーラムを通して、今改めて身近な地域の中で寄り添い続けることの意味を見つめなおし、誰もが孤立することなく自分らしく暮らしていくために、私たち何ができるのか、皆さんと一緒に考えていきます。

配信
期間

令和5年 **2月1日(水)** ~ **3月24日(金)**

内容

全体会（基調講演）

「一人ひとりによりそえる地域へ
～ともにいる日常を育む～」

おくだ ともし 奥田 知志 氏 (NPO法人 ほうぼく 抱樸 理事長)

分科会

分科会1 緩やかに しなやかに
気にかけてあえるまちへ
～つながりの価値を見つめなおして～

分科会2 「私のまち」を「私たちのまち」に
～連携で広がる地域の可能性～

会場

関内ホール（横浜市中区住吉町4-42-1）

開催
方法

録画配信（You Tube）

※ お申込みをいただいた方には、後日メールにて資料ダウンロード、及び受講に必要なURL・パスワードをお送りいたします。

※ 視聴に関わるインターネット通信費用は視聴される方のご負担となります。
(基調講演:1時間30分、分科会:各2時間45分程度)

参加無料

【主催】横浜市社会福祉協議会 ・ 18区社会福祉協議会

【共催】横浜市健康福祉局 ・ 横浜市子ども青少年局

(Youtube録画配信用)

一人ひとりによりそえる地域へ

会場 関内ホール 大ホール

10:30~12:00

定員 500名

～ ともにいる日常を育む ～

ほろぼく
NPO法人 抱樸 理事長

おくだ ともし
奥田 知志 氏



社会環境や家族の形が変わりゆく中で、社会的孤立は多くの人にとって身近にある課題として認識されるようになりました。「つながり」を求めながらも、多様化するつながりの形のなかで、その本質が見えにくくなっているのかもしれない。

生きづらさを抱え孤立しがちな一人ひとりに、同じ地域に住む住民としてどのように向き合い、そして「私たちのまち」で何ができるのでしょうか。

30年以上にわたり「社会的孤立」に寄り添い続けてきた実践を踏まえ、寄り添い続けることが何をもたらすのか、「自分らしく生きる」とは何かについて、ご講演をいただきます。

【講師プロフィール】

NPO法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師

1963年生まれ。関西学院大学神学部修士課程、西南学院大学神学部専攻科をそれぞれ卒業。

九州大学大学院博士課程後期単位取得。1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。同時に、学生時代から始めた「ホームレス支援」に北九州でも参加。事務局長等を経て、北九州ホームレス支援機構（現 抱樸）の理事長に就任。これまでに3700人（2022年3月現在）以上のホームレスの人々の自立を支援。

その他、共生地域創造財団代表理事、全国居住支援法人協議会共同代表、国の審議会等の役職も歴任。

第19回糸賀一雄記念賞受賞など多数の表彰を受ける。NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」にも2度取り上げられ、著作も多数と広範囲に活動を広げている。

【主な著書】

「いつか笑える日が来る」（いのちのことば社）

「助けて」と言える国へ（茂木健一郎氏共著・集英社新書）

「ユダよ、帰れ」（新教出版社）

「伴走型支援」（有斐閣）等

緩やかに しなやかに 気にかけてあえるまちへ

～つながりの価値を見つめなおして～

会場

関内ホール
大ホール

13:15～16:00

定員 500名

様々な事情により「生きづらさ」を抱える人に、地域の中で住民や団体・機関がつながり、支えあう取組が育まれています。身近な地域でつながる住民ならではの支えあいの大切さと、住民と専門職がともに暮らしを支える地域づくりについて考えます。

コーディネーター：同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 永田 祐 氏

実践報告：
● 根岸地区社会福祉協議会・根岸地域ケアプラザ・磯子区社会福祉協議会 (磯子区)
● 相沢地区民生委員児童委員協議会・火曜の会・二ツ橋第二地域ケアプラザ (瀬谷区)
● ききょうの会・荏田地域ケアプラザ (青葉区)

根岸地区社協
根岸地域ケアプラザ
磯子区社協

相沢地区民生委員児童委員協議会
火曜の会
二ツ橋第二地域ケアプラザ

ききょうの会
荏田地域ケアプラザ

本当に困っている人と つながるために ～食支援からはじまる見守りの芽～

「自分たちの地域にも、暮らしに困っている人がいるかもしれない」。できることから始めようと地区社協が食品の寄付を募り、支援機関とともに配分会を実施。そこで、地域で孤立し、SOSの発信ができない世帯と出会うきっかけとなった。取組を通じて感じた住民の想いに迫る。

地域の中で自分らしい暮らしを 続けるために ～ありのままを受け止め、 つながり続ける～

ボランティアで活躍していた方が、軽度の認知症になり、詐欺被害に遭われたことをきっかけに、住民と関係機関による見守りが始まった。「ボランティアを続けたい」という本人の想いに寄り添い、持っている力をどう発揮できるかを模索していく。住民と専門職が本人の望む暮らしをともに支える工夫を紐解く。

困りごとを 1人で抱え込まないために ～マンション内の見守り・ 共有の仕組みづくり～

築50年を過ぎた約40世帯のマンション。住民同士の絆は強いものの、高齢化などにより深刻な相談を耳にする機会が増えてきた。相談を受けた住民が一人で抱え込まないために、専門職とともにマンション全体の状況把握を進めながら、日頃の気づきを共有できる場を作っていく。住民による見守りやつながりを保つ秘訣を探る。

「私のまち」を「私たちのまち」に

～連携で広がる地域の可能性～

会場

関内ホール
小ホール

13:15～16:00

定員 130名

住民、福祉施設、企業、NPOなど地域にある様々な主体がつながり、取組を進めていくことで、地域の課題解決やまちづくりの新たな可能性が広がります。それぞれの強みを生かした連携のポイントについて共有します。

コーディネーター：武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 氏

実践報告：
● 麦田町発展会・児童養護施設 聖母愛児園・麦田地域ケアプラザ (中区)
● 特別養護老人ホーム 白寿荘・養護老人ホーム 白寿荘
いずみ野地域ケアプラザ・泉区社会福祉協議会 (泉区)
● 小菅ヶ谷地区社会福祉協議会・株式会社ケイサンタクシー
栄区社会福祉協議会 (栄区)

麦田町発展会
児童養護施設 聖母愛児園
麦田地域ケアプラザ

特別養護老人ホーム 白寿荘
養護老人ホーム 白寿荘
いずみ野地域ケアプラザ
泉区社協

小菅ヶ谷地区社協
株式会社ケイサンタクシー
栄区社協

ふらっと麦田 ～ケアプラザの場を活かした ゆるやかなつながり～

地域における様々な思いや取組をつなぐ試みとして始められた「ふらっと麦田」。対象や目的をゆるやかにすることで、垣根のない、人や活動のフラットなつながりや広がり可能性が生まれている。「ふらっと麦田」という場を通じて、地域とケアプラザがともに目指すものとは。

多様な主体で暮らしを支える ～想いをつなぐ 「泉サポートプロジェクト」～

福祉施設、企業等多様な主体が連携し、地域のニーズを支える「泉サポートプロジェクト」。高齢者のサロン等への送迎から始まり、そのまちの声に応じて対象や取組が広がっている。互いの想いを大切にしながら、どのように地域のニーズに向き合い、関わりを変化させてきたのか。それぞれの想いと連携の可能性を探る。

外出を支える 暮らしを見守る タクシー会社との連携

高齢者の外出に関する課題解決に向けた、3区合同によるタクシー協会との連携。栄区では地域の特徴を踏まえながら、タクシー会社による見守りの仕組みづくりと、地域サロンへの相乗りタクシーの活用による、外出の機会を支える取組を進めている。福祉と他業種との合意形成や連携のポイント、連携による取組の効果を紐解く。



● 配信期間

令和5年2月1日(水)～3月24日(金) 録画配信

※配信期間終了の前日、3月23日(木)までにお申込みをお願いします。

● 第7回よこはま地域福祉フォーラム申込フォーム

下記URL または、右の二次元コードからお申込みください。後日、Eメールにて受講、および資料ダウンロードに必要なURL・パスワードをお送りいたします。



申し込みはこちら

URL: <https://bit.ly/3AmuleY>

主催 横浜市社会福祉協議会 18区社会福祉協議会
共催 横浜市健康福祉局 横浜市子ども青少年局
協力 神奈川県社会福祉協議会 川崎市社会福祉協議会 相模原市社会福祉協議会
関東学院大学 神奈川大学 鶴見大学 横浜市立大学
公益財団法人 横浜YMCA 認定NPO法人 横浜移動サービス協議会
公益社団法人 神奈川県介護福祉士会 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会
公益財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団 公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会
一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会 横浜市市民協働推進センター
一般社団法人 ラシク045

※ 文中は敬称略としています
(順不同)

〈個人情報の取扱いについて〉

参加申込書に記載された個人情報は、本フォーラムに係る企画、主催者用参加者名簿の作成・管理等、本フォーラム関連のみの目的で使用するとともに、本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。

(個人情報保護に関する方針 <https://www.yokohamashakyo.jp/kojin-joho/>)



横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課

TEL 045-201-2090

FAX 045-201-8385

E-mail chiikifukushi-f@yokohamashakyo.jp

<https://www.yokohamashakyo.jp>

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階

「よこはま地域福祉フォーラム」は一部共同募金の配分金で実施しています。
プログラム中の各表題は仮題のため変更になる場合があります。ご了承ください。

